

生鮮食品の原産地表示状況調査結果

北海道環境生活部くらし安全局消費者安全課

1 調査方法

- (1) 調査期間 令和4年5月1日～6月30日
(2) 調査者 消費生活モニター
(3) 対象品目 生鮮食品(肉類、野菜・果物、水産物)
(4) 対象店舗 百貨店、総合スーパー(スーパーのうち、衣食住全般の商品を販売している店)、スーパー(主に食品のみを扱う店)、専門店
(5) 調査店舗数 肉類/215店舗、野菜・果物/214店舗、水産物/215店舗
(6) 調査内容 原産地表示の程度

2 調査結果

(1) 原産地の表示状況

【肉類】

調査を行った215店舗のうち、販売している肉類の全部に原産地を表示している店舗の割合は86.5%(186店舗)、ほとんどのに表示している店舗は13.5%(29店舗)であった。(合計で100%(215店舗))

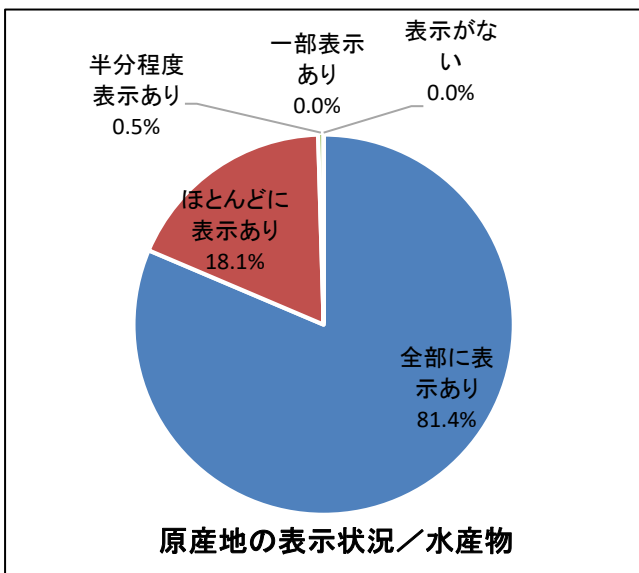
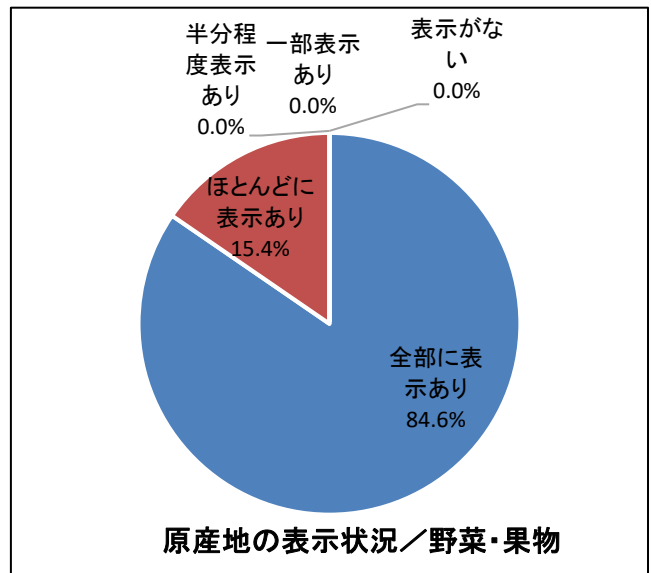
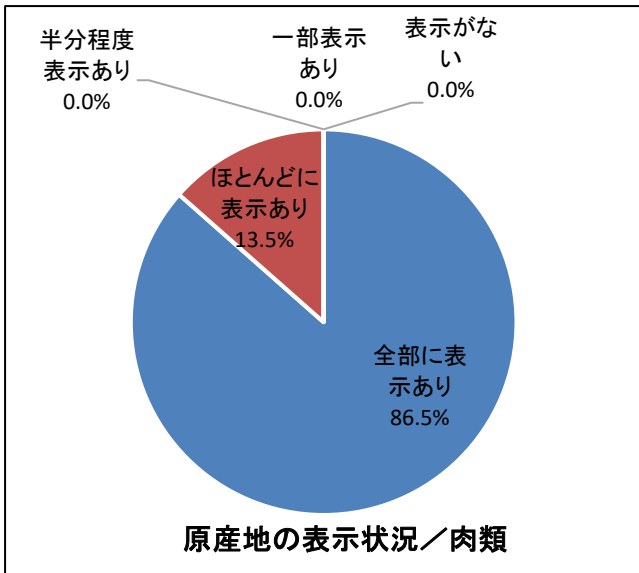
【野菜・果物】

調査を行った214店舗のうち、販売している野菜・果物の全部に原産地を表示している店舗の割合は84.6%(181店舗)、ほとんどのに表示している店舗は15.4%(33店舗)であった。(合計で100%(214店舗))

【水産物】

調査を行った215店舗のうち、販売している水産物の全部に原産地を表示している店舗の割合は81.4%(175店舗)、ほとんどのに表示している店舗は18.1%(39店舗)であった。(合計で99.5%(214店舗))

表示の程度	肉類		野菜・果物		水産物	
	店舗数	割合	店舗数	割合	店舗数	割合
全部に表示(100%)	186	86.5%	181	84.6%	175	81.4%
ほとんどのに表示(80-99%)	29	13.5%	33	15.4%	39	18.1%
半分程度表示(40-79%)	0	0.0%	0	0.0%	1	0.5%
一部表示(1-39%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
表示がない(0%)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	215	100.0%	214	100.0%	215	100.0%



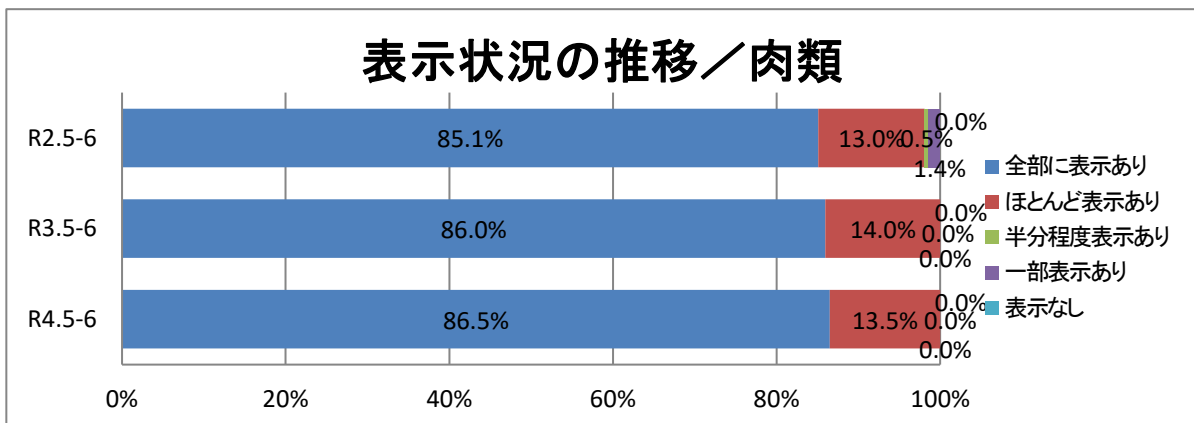
(2) 表示状況の推移(直近3カ年)

【肉類】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示がある」は86.0%→86.5%と0.5ポイント増加し、「ほとんどに表示がある」は14.0%→13.5%と、0.5ポイント減少した。

表示の程度が8割以上(「全部表示あり」または「ほとんど表示あり」)の店舗は100%→100%と、変化はなかった。

表示の程度が4割以下(「一部表示あり」または「表示なし」)の店舗は0.0%→0.0%と、変化はなかった。

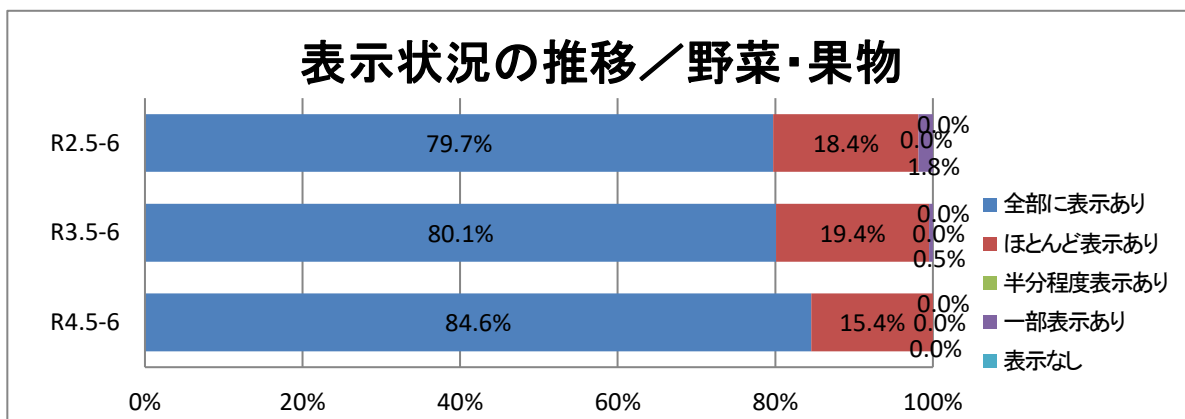


【 野菜・果物 】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示がある」は80.1%→84.6%と、4.5ポイント増加し、「ほとんどに表示がある」は19.4%→15.4%と、4.0ポイント減少した。

表示の程度が8割以上（「全部表示あり」または「ほとんど表示あり」）の店舗は99.5%→100%と、0.5ポイント増加した。

表示の程度が4割以下（「一部表示あり」または「表示なし」）の店舗は0.5%→0.0%と、0.5ポイント減少した。



【 水産物 】

前回調査結果と比較すると、「全部に表示がある」は80.7%→81.4%と、0.7ポイント増加し、「ほとんどに表示がある」が17.9%→18.1%と、0.2ポイント増加した。

表示の程度が8割以上（「全部表示あり」または「ほとんど表示あり」）の店舗は98.6%→99.5%と、0.9ポイント増加した。

表示の程度が4割以下（「一部表示あり」または「表示なし」）の店舗は0.0%→0.0%と、変化はなかった。

